

奨学生近況

* メリアン、教員試験合格！ *

3月の卒業後、CMB ラムアフス小学校で1年生担当補助教員をしていたメリアンが、公立学校教員試験に合格しました。11月からの後期授業では正規の教員として同じ教壇に立っています。

まだデイケアセンターがなく就学前教育が行われていないラムアフスでは、1年生の指導は大変です。「じっとしていない子どもたちがメリアンの話をちゃんと聞いている、新卒とは思えない」とCMB ディレクターのヴィック神父は彼女の指導力を絶賛していました。

公立学校の給与はCMB校の2倍以上と聞いています。両親を亡くし、小学校を中退した妹がいるメリアンには、家族のために公立学校で働くことを勧めたいけれど、山の小学校には彼女のようなビラーンの先生が絶対必要です。メリアン先生、今少し山でがんばってください。

* カルチャーショック(?)でロメル中退 *

ハイスクール時代は農場の仕事しながら学校に通う勤労学生だったロメルは、2004年6月カレッジ入学とともにHANDS奨学生になり寮に入りました。寮生活のうち炊事当番は大変ですが、あとは掃除・洗濯が終われば勉強だけをしていればいいという生活です。9月訪問時にはバスケットに興じるロメルを見かけたのに、期末休暇が終わった11月中旬に寮に戻らないという報告をCMBから受けました。勉強だけでいいという寮生活に耐えられなかった、がその理由です。真相は分かりません。

前期末での中退者は、ハイスクール48名中1名(病気のため)、小学生70名中1名(理由不明)と最低限にとどまっています。ロメルのケースも、本当にカルチャーショックであったとしたら、早めにカウンセリングなどの対策がとれなかったかと悔やまれます。新しくCMB副ディレクターになったビラーン民族初のファーディ神父に期待したいと思います。年齢も近い上、ビラーン語で何でも相談できるとあって奨学生も喜んでるようです。

* フェリッサからの手紙を紹介します *

この3月にNDMUの政治学科を卒業します。できれば初志どおり弁護士を目指して法学部に進学したいのですが支援いただけますか。(中略)私の村ラムクア(山崎注:長い裁判の末、約10年前にドール大農園の一部を取り戻したため、広大なパイナップル畑の中に浮かぶ島のような村です)について嬉しいニュースをお知らせします。4年前に中断した水道工事が、バランガイ議会の事業で完成しました。今まで7km先から水を運んだのに、今は5mのところ蛇口があります。これで村の発展が可能になりました。卒業式は3月20日です。参加していただければ嬉しいです。



HANDS奨学生のうち、教員試験合格第1号のドリ(写真右)と第2号となったメリアン。ともにラムアフス小学校で働いています。

2005年3月卒業予定の奨学生(または里子)

CMB関係: カレッジ1名(ボニファシオ/農業経営)・専門学校4名(アーリーン/ホテルコース、メリアン/薬局助手、ダンディ/車両整備、ネストル/車両整備)・ハイスクール15名・小学生18名

PFP関係: ハイスクール1名・小学生1名

その他: カレッジ1名(フェリッサ/政治学部)

※卒業式は3月20日から4月20日まで、学校によって様々です